

八潮の特産野菜が勢ぞろい



12月3日、やしお生涯学習館で第32回八潮市農業祭が開催されました。季節の新鮮野菜587点が所狭しと並べられ、八潮特産の小松菜や山東菜などのほか、ネギや冬瓜、八ツ頭、みかんなども出品されました。品評会と即売会が行われ、朝早くから多くの人で賑わいました。

みんなでおいしいクリスマス



12月16日、八幡公民館で「クリスマス料理教室」が開催されました。お米を研ぐところから始まりケーキの飾り付けまで、慣れない手つきの子どもたちでしたが、次々に料理が出来上がっていききました。クリスマスツリーの形をした「ハンバーグ&ピラフ」、オープンを使って作った「とろりんチョコケーキ」に、「かわいい!」「おいしい!」「お家でも作るんだ!」と大満足で、舌鼓を打っていました。

11月27日(月)、八潮市立八幡中学校(校長 一之瀬一彦)では、県教育委員会の推進事業である「彩の国心のほっと塾事業」の講演会を開催しました。本年度、中学校では県内で5校だけを実施され、社会の生活上のルールや基本的なモラルなどの倫理観、善悪の判断や郷土を愛する心など、中学生に豊かな心をほぐくむことを目的としています。講師には多様な専門分野で活躍する社会人の協力を得て、生徒の心に響く道徳教育を行うものです。

八幡中学校では、講師にJリーグの大宮アルディージャでトータルアドバイザーとして活躍している清雲栄純さんをお招きし、「感動の瞬間」をテーマに講演会を開催したものです。清雲栄純さんは、元サッカー選手で、日本代表コーチ、ジェフ市原の監督、U-18、U-19の日本代表監督などを歴任し、2004年度からは母校の法政大学工学部の教授も務めています。

3年生に向けては、失敗を恐れずにチャレンジすること、新しい進路先でも友だちを作ること、また、全校生徒へ、「Do it. (やるしかない)」という言葉を送りました。講演を聞いた生徒からは、「講演のなかで何回も感動しました。この感動をこれからの生活に生かしていきたい」と思っていますなどの感想が寄せられました。

いきいき やしお写真館

失敗を恐れず、Do it.

八潮市立八幡中学校



自由投稿コーナー

自分ですること ④失敗を恐れないうで、チャレンジすること、の4つのルールを決めて世界大会に臨み、世界2位の成績を残したことなどのお話をしていただきました。



町会で「ミニ文化祭」を開催!



小春日和の12月10日、垢町会(町会長=島根秀行さん)で「垢ふれあい会館まつり」が開催されました。垢町会の活動では初めてとなる、この催しは、会員同士の親睦と交流を図り、さらに地域文化の向上と災害に強い町会を目指して行われたものです。つきたての餅や豚汁などが振る舞われ、また、丹精こめた盆栽や手作りの作品などが展示された会館内では、踊りやカラオケも行われ、町会の皆さんは楽しい一日を過ごしていました。

私たちの絵が壁画になりました



12月22日、八潮パーキングエリアに、大瀬小学校6年生の作品がタイル壁画のモニュメントとして設置されました。これは、首都高速道路の民営化の1周年記念に合わせてリニューアルされた八潮パーキングエリアに壁画を設置するため、市内の小・中学校の児童生徒から原画を募集し、選考の結果、大瀬小学校の児童の作品が選ばれたものです。

小中一貫教育特区が認定される!



安倍首相から認定書を授与

市では、児童生徒の実態に則し、小中一貫教育を推進するため、現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施を可能とする構造改革特別区域法に基づく特区の認定申請を昨年9月に行いました。その結果、11月16日付けで特区が認定され、「構造改革特別区域計画認定書」の授与式が12月4日に首相官邸で行われ、安倍内閣総理大臣から多田市長へ認定書が授与されました。今後、分離型で小中学校に研究委嘱などを行い、小中一貫教育に取り組んでいく予定です。【関連記事8面「こちら教育委員会」】
園小中一貫教育について:指導課 ☎880、特区の認定申請について:生涯学習まちづくり推進課 ☎885